

共通専門科目	臨地実習・セミナー					
		1単位	演習	平成30年度	前期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	臨床研究論セミナー					
担当教員	◎増谷弘 山本慶和 臨床講師	戸田好信 畑中徳子	山西八郎 中村彰宏	近藤明 曾山奉教	小松方 学内教員	堀江修 臨床教授
目的	実施中の卒業研究の進行状況を報告し、学生同士で質疑応答・討論することで、指導教員だけでなく、他の学生からのヒントを参考にして自らの研究の進展に役立てる。これにより、より多くの研究テーマに対応できる方法論を学び、あらゆる角度から実験結果の観察方法を知る。また臨床検査に関する英語論文の検索の仕方を学び、必要な論文について研究の目的、対象、方法から結果、考察、結論に至る展開方法を学び、評価する態度を養う。卒業研究のチェックと英語論文により科学的思考を身につけるとともに論文の書き方を学ぶ。					
目標	文献の検索方法、英語論文の読解力、多くの実験方法の特長、実験計画の立案、実験結果のまとめ方、英語論文の書き方などを通じて、基礎学問を実践するために必要な基本的な方法を広く理解する。					
他科目との関連	多科目の基盤的方法として位置づけられる					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	その他	リサーチコース内で卒業研究について討議する。				0.5
	その他	リサーチコース内で英語論文について討議する。				0.2
	記録等	出席および授業態度				
	レポート	教員指定論文の内容をまとめ、提出する。				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	各教員が指定する外国文献等を用いる。					
参考資料	各教員が指定する。					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	卒業研究のリサーチコースに属して、卒業研究と一体となって進める。毎週各コースでカンファレンスを開き、その中で学生は読んだ論文の内容および研究成果を報告する。その際、他の学生や教員からの質疑応答を受けることによって、自身の研究テーマに対する理解を深めていく。5月末に開催される卒業研究中間発表会では、それまでの調査および議論を通じて理解した研究テーマの背景等を発表に反映させる。最終的には、9月4日（火）までに、読んだ外国語論文の内容をまとめ、レポートとして提出する。ここで取り上げる論文は、9月21日（金）までに提出する卒業研究論文の引用文献であることが望ましい。					